

平成28年7月25日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援等の状況報告について（26号）

7月8日～7月24日報告をします。

支援協力者

- ① くまむた荘←星光園：松本さん・佐々木さん。たまきな荘：竹下さん、上原さん。
けやき：岡さん、西さん。愛隣館：石貫さん、荒木さん。
のぞみ：園田さん、松山さん。
- ② 被災地支援事業←福岡県慈久園：吉田さん、荒木さん、太田さん。福岡県菊池園：井上さん、酒井さん、鶴さん、月俣さん、池田さん、朝比奈。佐賀県長光園：宮崎施設長、嘉村さん。長崎県もみの木園：江島施設長、川崎さん。山鹿市ボランティア連絡協議会：本田さん、福島さん、前田さん、湊上さん、村上さん、杉さん、横尾さん、森本さん、脇山さん、福本さん、田上さん。ベトナム育英会：川崎さん。原町福祉会：吉川さん、小原さん。横浜より落合さん。愛隣館スタッフ。

支援金 7月8日～7月24日

【熊本県身体障害児者施設協議会】肥後銀行 水道町支店 普通預金 2489873

・社会福祉法人 光友会 五十嵐理事長（神奈川県）

【(福) 愛隣園 熊本地震被災者支援口座】鹿本農業協同組合 山鹿支所 普通預金 0134907

・障害者支援施設 永幸苑 川崎施設長（千葉県）

ご支援・ご協力まことにありがとうございました。

【活動と現状について】

(1) 支援報告

- ① くまむた荘への人的支援は、熊本県の各施設から継続派遣中です。愛隣館職員2名の感想を掲載いたします。
 - ・愛隣館（7/18～7/20）荒木将男さんの感想くまむた荘は、想像していた以上に建物内外に大きな損傷があり、震災の被害を痛感しました。地震から約3ヶ月が経ち、職員も利用者も落ち着いてきているとのことでしたので、少しずつそして確実に復興に向かっていていると思います。今後自分にできることを考え実行していきたいと思います。

・愛隣館（7/18～7/20）石貫栄嗣さんの感想

くまむた荘では柳田施設長、久保田サビ管より、震災当時の状況説明があり、施設内・建物外を案内して頂き、地震の凄さを肌で感じる事ができました。利用者・職員の方とのお話の中で、元の生活に戻るには時間がかかるということが分かりました。しかし、利用者の方はとても明るく、帰りの際はたくさんの方にお礼の言葉を頂きました。

（2）会議情報交換

- ① 7月12日、熊本県障害者支援施設協議会（15施設、旧法療護中心）のサービス管理責任者等会議が、美里町にて開催。施設「のぞみ」の生活介護とGH「大喜地」は、周辺は豪雨被害があったものの、無事で会場となりました。くまむた荘、久保田サビ管の報告があり、地震の後直ぐに近くの職員が施設に集まり、危機対応（若手職員のLINEが有効）。またベテラン職員が羽釜を活用して、三食を提供できたことなどを聞きました。震災後初のサビ管会議となり、会えたことを喜び、またそれぞれの施設で頑張ってきたエネルギーが感じられました。
- ② 7月13日、熊本県身体障害児者施設協議会の役員会を開催。次回8月1日の全体会にはかる支援金の現状報告と、8月30日のサービス提供職員研修会で被災8施設にどのように危機を超えてきたか等を情報交換するプログラムを計画しました。
- ③ 7月15日、非公式に熊本の被災地をお見舞い訪問されているアラブ首長国連邦アジュマーン首長国アブドルアジーズ殿下が山鹿市に滞在、夕食会に招かれました。地震の後、どのように弱い人々を助け、守ってきたのかが最も学びたい事だといひ、写真と報告（未訳）をお渡しし、訳して読むから大丈夫と答えられました。NPO関係の女性リーダーも本国より同行されています。
- ④ 7月20日、身障協全国大会地の名古屋にて、常任協議員会が開催。身障協災害見舞金を熊本の被災が大きかった施設に送ることが報告されました。
- ⑤ 7月21日、身障協全国大会の開会式にて、磯貝実行委員長より熊本県から44名もの参加が得られ、本当に嬉しいとの言葉を頂きました。また、厚労省、内山障害福祉課長からもお見舞いと、必ず支援していくとの力強い言葉を頂き、とても励まされました。また、日野会長と安永宮崎県会長らは、交流会にて東北への支援Tシャツ事業（当方事務局）を熊本支援として引き継いでいくことを伝えられました。心より感謝申し上げます。

（3）地域支援報告

- ① 7月11日、リハビリテーション工学協会の支援コーディネートで同会理事岩崎さんと益城町、西原村、御船町の避難所、福祉避難所等を訪問しました。三層強化ダンボール製のテーブル（ベンテ）、イス（ベンチェ）等の紹介をはじめ、これからの仮設移動をふまえたニーズ調査でした。断続的な大雨をぬって、調査しながらできる対応を急ぐ、さすがパラリンピアン岩崎さんの姿に避難所の皆さんも私たち

も元気が出ました。

② 7月9日山鹿温泉リフレッシュ支援事業

益城町の皆さん、熊本市東部の皆さんをお招きしました。2団体とも本事業に慣れて来られ、以前よりもリラックスした雰囲気でも過ごして頂いているように感じます。震災後の緊張が少し和らいできているようです。

③ 7月13日山鹿温泉リフレッシュ支援事業

西原村の皆さんをお迎えする予定でしたが、大雨のため中止となりました。

④ 7月16日山鹿温泉リフレッシュ支援事業＋八千代座観劇

益城町の皆さん、熊本市東部の皆さんをお招きしました。大分県佐伯市障がい者相談支援センター長仲野様を始め石上様、大谷様、田村様が佐伯圏域施設での手作りクッキーを持ってきて下さり、皆さん好きなクッキーを楽しそうに選んでいました。またこの日は、山鹿八千代座倶楽部のはからいにより温泉リフレッシュ利用者の皆さんが「坂東玉三郎がいざなう鼓童の世界」(太鼓)にご招待を受けました。皆さんこの日をとっても楽しみにされていたようで、終演後の顔は満足そのものでした。玉三郎さんのさりげないお見舞いの言葉と、まるで歌舞伎のようなエンディングに一同心奪われました。帰りのバスから「凄かった！感情のやり場がないくらい、興奮冷めやらぬ空気が蔓延しています。」とお礼のメールが届きました。子供たちはその時間、愛隣館スタッフと一緒に陶芸や散歩をして遊びました。

⑤ 7月18日山鹿温泉リフレッシュ支援事業＋八千代座観劇

益城町女性グループの皆さんも、佐賀県長光園の宮崎施設長、嘉村サビ管の送迎により、山鹿のさくら湯を利用後「坂東玉三郎がいざなう鼓童の世界」(太鼓)を観劇されました。舞台との距離が近く太鼓の迫力がすごいこともさることながら、演奏者の筋骨隆々な姿にも皆さん釘付けになっていました。

⑥ 7月20日山鹿温泉リフレッシュ支援事業

熊本市グループホームの皆さんは最後のご利用となりました。車いす利用の女性が「温泉に入りたい」とのご希望でしたので、大きいバスマットを用意し、看護師・ケアスタッフの介護により、ゆっくりと旅館の温泉に入らせていただきました。素晴らしいお風呂とスタッフに感謝されていました。

西原村の皆さんは避難所の整理があり、これまで別々の避難所にお暮しの方が、数日前一緒になったとのこと。避難所の方々と、西原村出身のスタッフや、親せきが西原村在住というボランティアが地域の話で盛り上がっていました。岩手と青森から支援に来て下さっている日本赤十字病院の看護師さんも山鹿温泉を楽しんでおられました。

⑦ 7月23日山鹿温泉リフレッシュ支援事業

益城町の乳幼児6名はいつも元気でパワフル。スタッフもマジックやトランプ・折り紙などのゲームを駆使して賑やかな支援。ごく自然にニックネームで呼び合

う仲になりました。旅館の方とも仲良くなられ、この支援が結ぶ縁に感謝です。
7月末終了を前に、山鹿の皆さんにお礼を言いたいからと利用者が増えています。
熊本市東部の皆さんも随分慣れてこられ、旅館で見かけたパンフレットを手に取り山鹿市の「蓮まつり」に立ち寄りたいとのご要望。帰りにお花見とお買い物を
楽しめました。初めて参加したスタッフも和気あいあいと会話がはずみました。

(連絡先) 障害者支援施設愛隣館
TEL : 0968-43-2771
FAX : 0968-43-2793